令和5年度 事業計画書及び収支予算書

令和5年3月

社会福祉法人 大月町社会福祉協議会

令和5年度事業方針及び事業計画

目標

だれもがみんな、自分らしく生きるために共に支え合える地域づくり

<基本方針>

昨今、社会経済環境の変化とともに、地域社会や家庭・家族のありようが大きく変わっています。地域に暮らす人びとの関係の希薄化や高齢者世帯の増加、核家族化の進行により、生活課題、福祉課題は多様化・複雑化しており、これまでの福祉制度では解決が難しい状況となってきております。

このような状況のなか、本会では、地域における福祉活動の指針となる「大月町地域福祉活動計画」を軸として、誰もが皆、住み慣れた地域で安心して暮らす事のできる地域共生社会の実現に向け、住民主体の地域活動を支援していくと共に、質の高い福祉サービスの提供とさまざまな課題の解決のため、行政、地域住民、関係機関及び各種団体と協働して地域福祉を推進して参ります。

<重点目標>

- 1. 地域福祉活動計画及び地域福祉計画に基づいて地域福祉活動の 推進を図る
- 2. ふれあいのまちづくり事業の推進を図る
- 3. 介護保険法及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する為の法律等の介護サービス等事業の充実を図る
- 4. 在宅介護者の介護負担の軽減と孤立予防の取り組みの推進を図る
- 5. ボランティアセンター機能の充実を図る

<事業実施計画>

- 1. 地域福祉の推進
 - (1) 地域福祉活動計画に基づいた地域福祉活動の推進 地域毎の住民座談会を開催し、住民主体の活動計画づくりを 進め、共に支え合える地域づくりをする
 - (2) ふれあいのまちづくり事業の推進
 - (イ)総合相談所の設置
 - (ロ) 福祉大会の開催
 - (ハ) ふれあい弁当配食サービス (概ね 65 歳以上の独居老人または高齢者世帯など

/1食200円)

- (ニ) 愛の一声ふれあい郵便事業 (ネットワーク活動)
- (ホ) 緊急カード・ふれあい安心カードの整備及び個別配布
- (へ) 小・中・高生及び一般参加のボランティア体験学習の開催
- (ト) 各団体と協働の見守りネットワーク活動
- (チ) 高齢者輪投げ大会の開催
- (リ) 老人単科大学・芸能大会の開催
- (ヌ) 出前ミニデイサービス「ふれあいサロン」の活動強化
- (3) 福祉サービス利用支援の推進
 - (イ) 無料総合相談の運営強化
 - (ロ) 生活福祉資金貸付及び償還指導
 - (ハ) 日常生活自立支援事業の推進
- (4) 福祉活動推進校の育成支援

町社協指定推進校

大月小学校・大月中学校

※ 町内小・中学校児童生徒の「福祉のこころ」を育てる

- (5) 各種福祉関係機関・団体等との連絡調整及び活動育成
 - (イ) 民生児童委員協議会
 - (ロ) 老人クラブ連合会
 - (ハ) 心身障害者協議会
 - (二) 福祉委員協議会
 - (ホ) 民生委員 OB 会
 - (へ) ボランティア連絡協議会
 - (ト)シルバー介護士会
 - (チ) 大月町連合婦人会
 - (リ) 若者を元気にする会 青い空ぽっこぷぅ~ん
- (6) あったかふれあいセンター事業「ほっとセンター」の運営
- (7) 生活困窮者自立相談支援事業の推進
- (8) 生活支援体制整備事業の推進
- (9) なんでも屋紹介事業 「暮らしの応援団」の活用促進
- (10) 在宅介護者の負担軽減を図る
 - (イ) 認知症家族の会「いきいき家族の会」を開催
 - (ロ) 在宅介護者の生きがいづくり
- (11) 孤立予防の取り組みの推進
 - (イ) 小地域の支え合い見守りネットワークの構築
- (12) その他
 - (イ) 共同募金運動の推進
 - (ロ) 日赤活動資金(社資)募集の推進

- 2. 在宅福祉サービスの推進
 - (1) 介護保険及び介護予防・日常生活支援総合事業の推進
 - (イ) 訪問介護事業・第一号訪問事業(基準型訪問サービス)
 - (ロ) 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業
 - (ハ) 通所介護事業・第一号通所事業(基準型通所サービス)
 - (二) 居宅介護支援事業
 - (ホ) 認知症高齢者共同生活介護事業・介護予防認知症高齢者 共同生活介護事業 (グループホーム)
 - (へ) 予防型通所サービス
 - (2) 住宅型有料老人ホームの運営
 - (3) 障害福祉サービス事業の推進
 - (イ) 居宅介護事業
 - (ロ) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業
 - (ハ) 生活介護事業
 - (4) 障害者福祉の推進
 - (イ) 在宅障害者野外出前ふれあいサロン「七転び八起の会」
 - (口) 障害者協議会育成支援
 - (ハ) 福祉車両及び福祉用具の貸出
- 3. ボランティアセンター機能の充実
 - (1) 災害時ボランティアセンター機能の充実
 - (2) ボランティアの育成と活用

<組織経営管理体制の整備>

- 1. 会務の運営
 - (1) 理事会・評議員会の運営
- 2. 経営管理体制の構築
 - (1) 事業評価の実施
- 3. 財務管理と運営
 - (1) 自主財源の確保と有効活用
 - (2) 適正な財務管理
- 4. 組織基盤の整理
 - (1) 職員の人事管理・労務管理の適正化
 - (2) 人材育成・研修の充実
- 5. 指定管理業務の受託
 - (1) 指定管理施設の適正な管理運営
- 6. 情報発信
 - (1) 広報活動の充実
 - (2) 感想文集等の発行
 - (3) ホームページ
- 7. 福祉人材養成支援
 - (1) 各種実習の受け入れ及び協力

<その他>

- 1. ショートステイ事業(特老)へ協力
- 2. 地域包括支援センター・大月病院との連携

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

大月町指定訪問介護事業所 (基準型訪問サービス)

令和5年度 事業計画

基本方針(目標)

利用者の尊厳を保ち、知識・技術・笑顔・やる気!!で

一人ひとりの能力に合わせた生活が送れるよう支援する。

当訪問介護事業所は介護サービス計画書により、要介護状態となった利用者が可能な限り 住み慣れた自宅において、その個々の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出 きるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を提供し、且つ行政や 他関係機関と密接な連携を図り、地域の福祉向上に貢献します。

また、第1号訪問事業では、利用者の要支援状態の維持、改善を図り、要介護状態となる ことを予防する事を基本に、利用者の生活、人生を尊重しできる限り自立した生活を送れ るよう支援します。

1. 秘密の保持について

当事業所は、訪問介護員及びその他の従業者に対して、正当な理由がなくその業務上知り得た利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らすことがないよう、雇用契約において義務付けています。

2. サービス内容

訪問介護サービスの内容は、利用者の居宅に訪問介護員を派遣し、利用者に対して身体介護及び日常生活上の支援を行うものとします。

営業日 : 年中無休

営業時間:午前8時~午後6時

- ※ 介護支援事業所または(地域包括支援センターのケアマネージャー)の作成する居宅介護サービス計画により、営業時間外においてもサービスを提供させていただきます。
- ※ 携帯電話にて、24時間常時連絡が可能な体制としています。

3. 職員の職種、配置数

管 理 者 :1名

サービス提供責任者:4名 パート訪問介護職員:13名

4. 職員の研修

毎月1回事業所内のステップアップ研修(下記)以外にも、公の機関が開催する研修への積極的参加及び、研修内容の伝達共有を行います。

令和5年度 研修計画

月	研修テーマ	研修目的	講師
4月	訪問にあたっての接遇 について	訪問にあたっての接遇やマナーのレベ ルアップを図る。	提供責任者
5月	食中毒について	食中毒の知識の習得。また対応方法を 確認する。	大月町保健 師
6月	災害対策研修	災害時の冷静な対応や初期行動計画について学ぶ。	事務局
7月	身体拘束・虐待につい て	身体拘束・虐待についての理解や予防 について学ぶ。	未定
8月	調理実習	高齢者が食べやすい食事作りのポイン トと工夫を学ぶ。	栄養士
9月	救急法	家庭や訪問先での緊急時の対応が あわてず行える。	大月分署 救急救命士
10月	職業倫理と法令遵守に ついて	職業倫理と法令遵守について理解を深める。	未定
11 月	感染症について	コロナウイルス・インフルエンザ等の 感染症について理解する。	大月町保健 師
12月	リスクマネジメント について	介護現場での事故再発防止やヒヤリハ ット事例を学ぶ。	未定
1月	社協職員交流会	多職種の社協職員と交流を深め、コミ ュニケーションを図り意見交換する。	未定
2月	認知症研修	認知症の知識と対応を正しく理解する。	未定
3月	ハラスメント対策研修	ハラスメントに関する情報の共有など 知識を学ぶ。	未定

大月町基準該当訪問入浴介護事業所(含基準該当介護予防訪問入浴介護)

令和5年度 事業計画

基本方針(目標)

ゆったりと入浴でき、清潔な身体で過ごすことができる。

訪問入浴介護の事業は、要介護状態となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴の援助を行う事によって、利用者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図るものとする。且つ行政や他関係機関と密接な連携を図り、地域の福祉向上に貢献します。

基準該当訪問入浴介護事業では、利用者の要支援状態の維持・改善を図り、要介護状態になることを予防する事を基本に、利用者の生活・人生を尊重し、できる限り自立した生活を送れるよう支援します。

1. 秘密保持について

当事業所は、訪問介護員及びその他の従業者に対して、正当な理由がなく その業務上知り得た利用者及び契約者・その家族等の秘密を漏らすことが ないよう、雇用契約において義務付けています。

2. サービス内容

利用者の居宅に看護師1名、介護職員2名が浴槽を持参し、寝たままの状態で入浴をしていただきます。ケアマネジャーが提示するケアプランに基づき作成された介護計画書に基づき、看護師・ヘルパー2名が決められた日時に訪問し、入浴前体調確認(血圧・脈拍・体温等)を行い、入浴(洗髪含む)を実施します。また、入浴後の体調確認及び経過観察を行ないます。

3. 営業日と営業時間

- ・ 営業日は年中無休とします。ただし、1 月 1 日 \sim 1 月 3 日までを除くこととしますが、需要がある場合はこの限りではありません。
- ・ 営業時間は $8:00\sim18:00$ までとしますが、特別の需要がある場合はこの 限りではありません。尚、携帯電話にて24 時間電話受付をいたします。

社会福祉法人大月町社会福祉協議会 大月町指定居宅介護事業所

令和5年度 事業計画

基本方針(目標)

利用者の尊厳を保ち、知識・技術・笑顔・やる気!!で

一人ひとりの能力に合わせた生活が送れるよう支援する。

当居宅介護事業所は介護サービス計画書により、利用者が可能な限り住み慣れた自宅において、その個々の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出きるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を提供し、且つ行政や他関係機関と密接な連携を図り、地域の福祉向上に貢献します。

1. 秘密の保持について

当事業所は、訪問介護員及びその他の従業者に対して、正当な理由がなくその業務上知り得た利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らすことがないよう、雇用契約において義務付けています。

2. サービス内容

居宅介護サービスの内容は、利用者の居宅に訪問介護員を派遣し、利用者に対して身体介護及び日常生活上の支援を行うものとします。

営業日:年中無休

サービス提供時間:午前8時~午後6時

- ※ 大月町指定相談支援事業所が作成する居宅介護サービス計画により、サービス提供時間外においてもサービスを提供させていただきます。
- ※ 携帯電話にて、24時間常時連絡が可能な体制としています。

3. 職員の職種、配置数

管理者:1名サービス提供責任者:4名パート訪問介護職員:13名

4. 職員の研修

毎月1回事業所内のステップアップ研修(下記)以外にも、公の機関が開催する研修への積極的参加及び、研修内容の伝達共有を行います。

令和5年度 研修計画

月	研修テーマ	研修目的	講師
4月	訪問にあたっての接遇 について	訪問にあたっての接遇やマナーのレベ ルアップを図る。	提供責任者
5月	食中毒について	食中毒の知識の習得。また対応方法を 確認する。	大月町保健 師
6月	災害対策研修	災害時の冷静な対応や初期行動計画に ついて学ぶ。	事務局
7月	身体拘束・虐待について	身体拘束・虐待についての理解や予防 について学ぶ。	未定
8月	調理実習	高齢者が食べやすい食事作りのポイン トと工夫を学ぶ。	栄養士
9月	救急法	家庭や訪問先での緊急時の対応が あわてず行える。	大月分署 救急救命士
10 月	職業倫理と法令遵守について	職業倫理と法令遵守について理解を深める。	未定
11月	感染症について	コロナウイルス・インフルエンザ等の 感染症について理解する。	大月町保健 師
12月	リスクマネジメント について	介護現場での事故再発防止やヒヤリハ ット事例を学ぶ。	未定
1月	社協職員交流会	多職種の社協職員と交流を深め、コミ ュニケーションを図り意見交換する。	未定
2月	認知症研修	認知症の知識と対応を正しく理解する。	未定
3月	ハラスメント対策研修	ハラスメントに関する情報の共有など 知識を学ぶ。	未定

社会福祉法人大月町社会福祉協議会 大月町指定相談支援事業所

令和5年度 事業計画

基本方針(目標)

障害者や障害児又はその家族からの相談に応じ、必要な情報

の提供及びサービス利用などの相談・支援をさせて頂きます。

1. 事業内容

相談者の地域の生活を支えるためのその人の生活全体を見通し、 継続的な支援を実施していくことを援助方針とします。

- 相談支援
- 情報提供
- ・関係機関との連絡調整
- ・サービス利用計画作成の作成

2. 職員の職種、配置数

管 理 者 :1名相談支援専門員:1名

3. 職員の研修

毎月1回事業所内のステップアップ研修(下記)以外にも、公の機関が開催する研修への積極的参加及び、研修内容の伝達共有を行います。

大月町社会福祉協議会 大月町指定居宅介護支援事業所

令和5年度事業計画

運営方針

利用者が要介護状態にあっても可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活が営むことができるよう配慮し、利用者の選択に基づき、適正な保健・医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう、公平中立な居宅介護支援を行う。

事業目標

利用者やその家族にとって話しやすく相談しやすいケアマネージャーになる。

~利用者に寄りそう支援とかかわりを~

- ① 相手の立場に立つことを大切にし、本人の意向、ライフスタイル、大事にしていること等を聞き取り自立支援を目指したプランを作成する。相談援助職としてスキルアップを目指す。
- ② 感染症や災害が起きた場合でも、業務継続に向けた取り組みを行い委員会の開催、研修の実施、訓練等行う。
- ③ 防災の知識を身につけ、状況に合わせた防災対策(家具の固定・避難所の確認など)についてアドバイスできるようになる。
- ④ 地域包括支援センターや医療との連携を強化しスムーズに情報交換が行え、多職 種連携を円滑に行いつながりを生かす支援ができる。



令和5年度研修計画(大月町指定居宅介護支援事業所)

	研修内容	備考
令和5年/4	認知症について	
令和5年/5	アセスメントについて	
令和5年/6	ハラスメントについて	
令和5年/7	災害時の対応や避難場所の確認について	
令和5年/8	感染症予防対策委員会	
令和5年/9	救急法の確認及び実践	サービス利用割合表作成
令和5年/10	職業倫理と法令順守について	
令和5年/11	身体拘束・虐待について	
令和5年/12	成年後見制度について	自己評価
令和6年/1	BCPに向けた取り組みについて	
令和6年/2	次年度の事業・研修計画について	
令和6年/3	各種マニュアルの確認	サービス利用割合表作成

令和5年度(通所介護、基準型通所サービス、基準該当生活介護)事業計画書

ディサービス「さんご」

(運営方針)

利用者の意志および人格を尊重し、常に利用者及び家族の立場に立った援助の基本姿勢を忘れる事なく、コミュニケーションを密にし、利用者の個別のニーズを見逃さず対応できるなど、家族の方の介護負担の軽減や利用者の生活の質の向上に努力します。

- ① 利用回数については、居宅介護支援事業所が作成したケアプランに基づいた利用回数を原則とします。
- ② 他のサービス提供事業所と連絡を密にし、利用者個々のニーズに応じた対応行います。
- ③ 苦情に関する窓口を設置し、苦情があった場合には迅速かつ適切な対応を行います。
- ④ 利用者及び家族の了解を得て、主治医の方に意見をお尋ねすることがあります。
- ⑤ 職員は積極的に施設内外の研修に参加し、資質の向上に努めます。

(事業所の職員体制)

※令和5年4月

_ (争来)が	<u> </u>	·制)
職種	人数	備 考
管理者	1	生活相談員兼務
生活相談員	1	管理者兼務
介護職員	9	(1名) 生活相談員との兼務 (1名) 調理員と兼務
看護職	0	機能訓練指導員との兼務
機能訓練指導員(パート)	2	看護職員との兼務
調理員	1	介護職員との兼務
看護職 (パート)	2	機能訓練指導員との兼務
介護職 (パート)	1	介護職員
調理員 (パート)	1	介護職員兼務
調理員 (パート)	1	

(令和5年度) 重点目標

機能の維持向上、意欲を引き出す、安心して過ごせる レクレーションや機能訓練など「さんご」での一日の取り組みの中で、利用者一人 一人、笑って過ごして頂き「安心して意欲を持ちゆっくりと笑顔で過ごせる」と感 じて頂きたい・・・・

機能の維持向上、意欲を引き出す、安心して過ごせる

	人和 [在唐任則弘而書	
	令和5年度年間計画書 防災訓練(10月・3月)非常時災害訓練(地震)(4月、8月、12	
	月) 風水害訓練(9月)	
	ぬり絵・カレンダー作成	
	お誕生日写真 プレゼント	
	かご作り お誕生日カード作り	
	封筒作り 野菜つくり	
	シルバーボランティア(月1回)入浴介助	
	作品を文化展へ出品する。(塗り絵、共同作品)	
	名所ウォークラリー	
	折鶴を広島、長崎に送る	
	令和5年度毎月計画書	
4月	小さなバスケット	
5月	おやつ作り(柏餅)	
6月		
7月	共同作品(すいせんの花)	
8月		
9月	敬老会	ボランティア 訪問
10月	運動会	
11月	T H Ata (a 1/4) a	
12月	正月飾り作り つるし柿作り 	
1月	お雛様作り	
2月	 会せ作り(句のものな体で) 工士担ってり	 山菜その
3月	食材作り(旬のものを作る)干大根つくり 	他
その他	興味のあるものに挑戦して頂く	

(営業時間)

午前 8時30分 ~ 午後 5時30分まで

※日曜日·年末年始(12月30日から1月3日)は休業となります。

(利用定員)

30名(通所介護・基準型通所サービス・基準該当生活介護)を含めた人数) (サービス内容)

(通所介護)

利用者の居宅(自宅)から施設へ、当施設の送迎車両にて送迎を実施し、施設内にて養護、健康チェック、食事、入浴、レクリエーション、機能訓練等により、利用者の健康状態の確認や生きがいの増進、家族の方の介護負担の軽減を図るサービスです。

(基準型通所サービス・基準該当生活介護)

① 共通的サービス

利用者が自立した生活を送っていただけるよう、居宅 (自宅)から施設へ、当施設の送迎車両にて送迎を実施し、施設内にて養護、健康チェック、食事、入浴等の介助をさせていただき、利用者の健康状態の確認や生きがいの増進を図るサービスです。

② 集団的なレクリエーション、創作活動等による機能訓練を実施します。

(一日の流れ)

	通所介護	基準型通所サービス 基準該当生活介護				
	送迎(迎え)					
9:30	健康チェック(血圧測定、検温、脈拍、体重測定)					
		軽体操・ウエイトトレーニング				
	レクリエーショ ン	入浴				
	入浴 レクリエーション					
12:00		昼食				
13:00	集団レク機能訓練・音楽体操					
14:00	機能訓練・音楽体操 集団レク					
15:00	おやつ・休憩					
談話・カラオケ						
16:00	送迎(送り)					

社会福祉法人大月町社会福祉協議会 認知症対応型共同生活介護(含介護予防事業)

グループホーム月のなごみ

令和5年度 事業計画

1. 運営方針

グループホーム月のなごみでは、入居者"お一人おひとりが、これまでと変わらぬように""自分らしく暮らせる環境づくり"をめざします。

家庭的な温かく笑顔の耐えない雰囲気づくり お一人おひとりを大切に思うこころ 同じ目線で対話し、ご本人の意向や思いをとらえる 職員に対しご本人やご家族が話かけやすい雰囲気づくり

秘密の保持について

当ホームは、職員及び関係者が、正当な理由がなくその業務上知り得た、 利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らす事がないよう、雇用契約 において義務付けています。

2. 目標

整理・整頓・清潔を基本に入居者様が安全で心配なく過ごせる環境整備に 取り組み、ご本人もご家族も安心して暮らせるホームづくりを目指します。

配置職員数:管理者 1名

計画作成者1名介護職員8名

介護補助職員 1名 (パート職員) 調理員兼介護職員2名 (パート職員)

経営・運営方針

- 1. 家庭的な温かい雰囲気の中でその人らしい生活が送れるよう努める。
- 1. 個人の尊重や個性を大切にし残っている機能を引き出しながら、尊厳のある生活を送っていただけるよう努める。
- 1. 心のケアに気を配り安心充実した生活が送れるよう努める。
- 1. ご家族や地域の方たちとの交流を密にして信頼されるグループホームであるよう努める。

	研修内容	訓練	委員会
4月	・認知症及び認知症ケアについて		・身体拘束廃止 ・高齢者虐待防止 ・感染症対策 (3施設合同)
5月	・緊急時の対応、事故防止について	土砂・災害避難訓練	事故対策(3施設合同)
6月	・感染症について ・食中毒の発生及びまん延防止について	新型コロナウイルス シミュレーション訓練	
7月	・高齢者虐待防止について(3施設合同)		・身体拘束廃止
.,,	・災害対策について	地震災害 シミュレーション訓練	
8月	・身体拘束廃止、プライバシー保護について		・レク(月見会)
9月	・外部評価について ・自己評価について	火災訓練(夜間) (消火・通報・避難)	
10月	・倫理、法令遵守について		・身体拘束廃止 ・高齢者虐待防止 ・感染症対策(3施設合同) ・事故対策(3施設合同)
11月	・新型コロナウイルスについて	土砂・水害訓練	
12月	・介護従事者の接遇について		
1月	・来年度の研修計画につて		• 身体拘束廃止
2月	・身体拘束廃止について(3施設合同)	地震避難訓練	・事故対策 (3施設合同)
2/1	・嚥下障害と食事の基礎知識について ・口腔ケアについて		
3月	・権利擁護事業・成年後見制度について	火災避難訓練 (日中)	

	令和5年度行事計画 (グループホーム月のなごみ)
4月	・ドライブ(個別外出)・誕生日会
5月	- 端午の節句 ・ドライブ(全員)
6月	-あじさい運動会 -誕生日会
7月	-外出(個別外出) ・七夕 ・鉾土夏祭り
8月	・納涼金魚すくい大会 ・誕生日会
9月	- 敬老会(バイキング) ・ドライブ(個別外出)
10月	- 月見会
11月	・外出(焼き芋パーティー)・鉾土秋祭り ・誕生日会
12月	・クリスマス会 ・誕生日会
1月	・お正月(獅子舞) ・初詣
2月	- 節分(豆まき) - 誕生日会
3月	-ひな祭り -外出(桜花見)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会 認知症対応型共同生活介護(含介護予防事業)

グループホームのんびり館

令和5年度事業計画



1. 運営方針

グループホームのんびり館では、入居者が自分の力を活かして楽しく暮らせる「ずっと住みたい家」を目指します。

- ○家庭的な温かい雰囲気づくり
- ○個人を大切にし、穏やかに過ごせることで認知症進行を予防
- ○その人の能力に合った自立支援
- ○ご本人やご家族、地域の皆が安心して暮らせるホームづくり

2. 目標

- ○毎日のメニューを知り食事を楽しみにする
- ○入居者の思いを聞き取る

職員配置数:管理者 1名

計画作成担当者 1名

介護職員 8名(うちパート2名)

調理員兼介護職員 2名

環境整備員 1名



令和5年度 研修計画

(グループホーム のんびり館)

月	研修内容	委員会/訓練/研修
4月	認知症及び認知症ケアについて	感染症対策委員会(3施設) 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会
5月	 緊急時の対応・事故防止について 	事故対策委員会(3施設) 風水害·土砂災害避難訓練
6月	感染症について 食中毒の発生及びまん延防止について	新型コロナシュミレーション訓練 感染症対策委員会(3施設)
7月	災害対策について 高齢者虐待について(合同)	地震災害シュミレーション訓練 レク委員会(納涼祭)
8月	プライバシー保護、身体拘束廃止について	火災避難訓練(消火器使用) レク委員会(納涼祭)
9月	外部評価(自己評価)について	レク委員会(施設運動会) 風水害・土砂災害避難訓練
10月	倫理・法令遵守について	感染症対策委員会/事故対策委員会 高齢者虐待防止/身体拘束廃止/ 地震避難訓練
11月	新型コロナウイルスについて	火災避難訓練(消防·地区住民 参加)
12月	介護従事者の接遇について	レク委員会(忘年会・クリスマス会)
1月	新年度の事業計画・研修計画・行事計画について	身体拘束廃止委員会
2月	口腔ケアについて 嚥下障害と食事の基礎知識	事故対策委員会(3施設)
3月	日常生活自立支援事業について成年後見制度について	各委員の交代と引継ぎ

令和5年度 行事計画

(グループホーム のんびり館)

月	行事内容	備 考
4月	さくら見物	
5月	叶崎展望台へ	
6月	あじさい鑑賞	
7月	ふるさと訪問	
8月	施設納涼祭	
9月	おやつバイキング	
10月	コスモス見物 / ひまわり見物 施設運動会	
11月	焼いもパーティー(3施設) 春遠地区秋祭り	
12月	クリスマス会 / 忘年会	
1月	初詣	
2月	節分	
3月	バイキング	



居宅型有料老人ホーム高原の郷

令和5年度 事業計画

入居者様に3つの課題が実現されるように全職員が協力し合い、誰もが 満足を得られるような施設になるように努める。

3つの課題の実現

≪元気な挨拶と明るい施設であること≫

≪人としての尊厳を大切に接すること≫

≪素直な心と謙虚さを持ち接すること≫

お一人おひとりを自分の家族と考えて大切に思うこころを目指します。同じ目線で対話し、物をとらえるこころを目指します。

ご本人もご家族も周りの皆が安心して暮らせるホームづくりを目指します。 ホームに入居して良かったと思っていただける施設を目指します。

《秘密の保持について》

当ホームは、職員及び関係者が、正当な理由がなくその業務上知り得た、利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らすことがないよう、雇用契約において義務付けています。

1. 目標

温かく親しみがあり、かつ節度のある接遇マナーを基本に、職位に求められる基本的能力の底上げに努めます。

丁寧で迅速な対応をするための業務手順や職員間の連携の強化に努めます。又適宜の見直しを行います。

居室数:9室

配置職員数:施設長《管理者》 1名(介護職員兼務)

介護職員 8名(内パート職員4名)

栄養士 1名(介護職員兼務)

令和 5 年度 研修計画

有料老人ホーム 高原の郷

月	研修内容	担当者
4月	緊急時の対応について	
5月	救命処置の手順について	
6月	食中毒について	
7月	水分補給の重要性について 高齢者虐待について(合同)	
8月	認知症及び認知症の介護について	
9月	身体拘束、虐待について	
10月	インフルエンザと感染症について	
11月	コロナウイルスについて	
12月	ノロウイルスと嘔吐物処理の仕方について	
1月	内服薬の服薬管理、誤薬について	
2月	接遇について	
3月	新年度の研修計画について	

令和 5 年度 年間行事計画

有料老人ホーム 高原の郷

月	B	年間行事予定	防災訓練	委員会/研修
4月		お花見		感染症対策委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会
5月		5月の御節句	風水害·土砂災害避難訓 練	事故対策委員会
6月		あじさい鑑賞	新型コロナシュミレーショ ン訓練	感染症対策委員会
7月		七夕	地震災害シュミレーション訓 練	レク委員会(納涼祭)
8月		納涼祭	火災避難訓練(消火器使用)	レク委員会(納涼祭)
9月		コスモス鑑賞	風水害·土砂災害避難訓練	レク委員会(運動会)
10月		お月見 運動会	地震避難訓練	感染症対策委員会/事故対策委員会 高齢者虐待防止委員会/身体拘束廃止委 員会
11月		春遠地区秋祭り	火災避難訓練(消防·地区 住民参加)	
12月		クリスマス/忘年会		レク委員会(忘年会、クリスマス)
1月		お正月	地震避難訓練	身体拘束廃止委員会
2月		節分		事故対策委員会
3月		ひな祭り		各委員の交代と引継ぎ

ほっとセンター 令和5年度事業計画

<目 標>

- ○生活上の困り事・ニーズの把握をし、制度の狭間で困っている人の支援を継続する。
- ○自分で出来ることを自発的に行える環境を整える。
- ○他機関と連携をしつつ、自宅にこもりがちな人達の交流の場、 きっかけづくりの後押しができる場所をつくる。



≪取り組み≫

- 感染予防に配慮しながらイベントを通じて地区との交流を広げていく。
- 区長や民生委員との連携を継続し、地区で気になることや困っていることを発掘する。
- 気軽に困り事を相談しやすい環境をつくる。
- •介護予防を意識した環境づくり

≪事業内容≫

その他

集い 赤ちゃんからお年寄り、障害の有無に関わらず全住民を対象とした居場所の提供

子ども・高齢者・障害者を対象に緊急のニーズに対応 預かる

利用者(集い/障害者/ひきこもりの方等)を対象に、 働く

野菜・花の苗等の栽培及び販売

送る サロン利用者や買い物支援参加者の送迎

集い利用者と各地区住民や他施設との交流の場 交わる カラオケ交流会や輪投げ交流会など交流

学ぶ 利用者やボランティア等を対象にしたミニ講座や研修会など

日常的な生活支援やほっとセンターの周知活動 訪問 (安否確認・ごみ捨て・買い物代行など)

要援護者やその家族、住民からの福祉ニーズなどに関することや 相談

日常生活での困り事などの相談

相談・訪問活動によって発見されたニーズや課題を つなぎ 行政や地域包括支援センター、専門機関につなぎ連携して支援

センター利用中の買い物及び通院(町内のみ) 生活支援 郵便物確認や手続き同行など生活課題やニーズに対応

家族が対応できず、バス、タクシーを利用できない方などを対象に

移動手段の確保 相談があった場合に実施

・ルンルンランチ(毎週月·火·木·金曜日) ¥400

- ・ほっと元気体操(调4回) 健康体操/口腔体操/頭の体操/歩け歩け(ウォーキング)/レクリエーション等 ・認知症カフェ(毎月1回)
- ・駄菓子屋(おかし/おもちゃ/くじ)
- ☆ 施設設備(カラオケルーム/マッサージ機/各種レク道具(卓球、スカットボール等) (キッズルーム/本(漫画、小説、文庫本など約2.000冊))

令和5年度 ほっとセンター年間事業計画 一覧表

月	行 事	備考
4 🗖	遠足ツアー	
4月	地区交流会	
	こどもの日イベント	
5月	ほっと運営委員会	
	ホウ酸団子づくり	
	地区交流会	
6月	町内巡りツアー	
	防災訓練(伝言ダイヤル)	1日 or 15日
7月	カラオケ交流会	
	大月中学校吹奏楽部演奏会	
8月	ボランティア体験学習(事務局共催)	
07	こども夏休みイベント	
	地区交流会	
	敬老お楽しみ会	ビンゴ大会
9月	輪投げ交流会	
	防災訓練(火災)	
10月	輪投げ交流会	
10/3	将棋大会	
	文化展見学	
11月	ほっと運営委員会	
	防災学習	防災食試食
	干支づくり	ちぎり絵、おりがみ
12月	地区交流会	
	クリスマス買い物ツアー	
1月	初詣	
	カラオケ交流会	
2月	地区交流会	
	梅椿ツアー	
3月	お花見遠足	
0,1	消防訓練(地震災害)	

(実施教室など)

- ・パッチワーク教室(随時)
- ・小物作り教室(第二、第四木曜日)
- ・男の将棋クラブ(毎週木曜日、土曜日)

(令和5年度当初予算)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会 法人会計

(単位:千円)

		勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増 減 額	備考
事	収	寄附金収入	10	10	0	
業	入	寄附金収入	10	10	0	
活		経常経費補助金収入	15, 702	16, 313	611	
動		町補助金収入	14, 732	15, 219	487	
に		社協運営費補助金収入	14, 732	15, 219	487	
ょ		共同募金配分金収入	970	1,094	124	
る		一般募金配分金収入	970	1,094	124	
収		受託金収入	33, 491	34, 957	1, 466	
支		県受託金収入	4, 500	4, 500	0	
		生活困窮者自立支援事業受託金収入	4, 500	4, 500	0	
		町受託金収入	28, 243	29, 680	1, 437	
		生きがいと健康づくり推進事業受託金収入	300	300	0	
		配食サービス事業受託金収入	1, 347	2, 300	953	
		ほっとセンター事業受託金収入	16, 560	17, 150	590	
		共助の基盤づくり事業受託金収入	4,000	4, 000	0	
		地区運動教室支援事業受託金収入	720	720	0	
		生活支援サービス事業受託金収入	2,650	2, 760	110	
		予防型通所サービス受託金収入	2, 601	2, 167	△ 434	
		傾聴ボランティア派遣事業受託金収入	59	263	204	
		住宅改修支援事業理由書作成受託金収入	6	20	14	
		県社協受託金収入	748	777	29	
		民生委員実費弁償費受託金収入	50	51	1	
		生活福祉資金貸付事業受託金収入	449	478	29	
		日常生活自立支援事業受託金収入	249	248	\triangle 1	
		事業収入	1, 351	1, 491	140	
		利用料収入	1, 348	1, 491	143	
		参加費収入	3	0	\triangle 3	
		介護保険事業収入	153, 581	153, 585		
		居宅介護料収入	57, 264	51, 372	△ 5, 892	
		介護報酬収入	51, 552	46, 248	△ 5, 304	
		介護負担金収入(一般)	5, 712	5, 124	△ 588	
		地域密着型介護料収入	49, 968	52, 008	2, 040	
		介護報酬収入	44, 976	46, 812	1, 836	
		介護負担金収入(一般)	4, 992	5, 196	204	
		居宅介護支援介護料収入	16, 944	17, 592	648	
		居宅介護支援介護料収入	16, 944	17, 592	648	
		介護予防・日常生活支援総合事業収入	11, 568	12, 924	1, 356	
		事業費収入	10, 416	11, 640	1, 224	
		事業負担金収入(一般)	1, 152	1, 284	132	
		利用者等利用料収入	17, 837	19, 689	1, 852	
		地域密着型介護サービス利用料収入	7, 524	9, 540	2, 016	
		食費収入(一般)	10, 305	10, 142	△ 163	
		その他の利用料収入	8	7	\triangle 1	
		老人福祉事業収入	6, 682	8, 004	1, 322	
		その他の事業収入	6, 682	8, 004	1, 322	
		管理費収入	3, 513	4, 608	1, 095	
		その他の利用料収入	3, 169	3, 396	227	
		障害福祉サービス等事業収入	3, 632	3, 108	△ 524	
		自立支援給付費収入	3, 630	3, 106	\triangle 524	
		口	5, 050	5, 100	△ 524	

(令和5年度当初予算)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会 法人会計

(単位:千円)

	勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増 減 額	(単位:十円) 備 考
	介護給付費収入	3, 588	2, 952	△ 636	
	サービス利用計画作成費収入	42	154	112	
	利用者負担金収入	2	2	0	
	雑 収 入	1,021	1, 088	67	
	雑収入	1,021	1, 088	67	
	受取利息配当金収入	14	8	△ 6	
	受取利息配当金収入	2	2	_ 0	
	積立資産受取利息配当金収入	12	6	△ 6	
	事業活動収入計(1)	215, 484	218, 564	3, 080	
支		217, 376	217, 957	581	
出	· 役員報酬支出	1, 540	1, 572	32	
щ	職員給料支出	33, 169	29, 961	△ 3, 208	
	職員賞与支出	13, 122	11, 953	△ 1, 169	
	職員諸手当支出	3, 050	2, 912	△ 1,103 △ 138	
	「楓貝帽子ヨメロ 非常勤職員給与支出	134, 367	139, 310	4, 943	
	非常勤職員給与支出	31, 306	31, 387	81	
	契約職員賃金支出	103, 061	107, 923	4, 862	
	その他の賃金支出	6, 106	5, 876	△ 230	
	法定福利費支出	26, 022	26, 373	351	
	事業費支出	39, 589	39, 613	24	
	諸謝金支出	332	386	54	
	弁護士謝金支出	240	240	0	
	講師謝礼金支出	92	146	54	
	旅費交通費支出	420	282	△ 138	
	役職員旅費支出	318	180	△ 138	
	委員等旅費支出	102	102	0	
	消耗品費	3, 057	3, 550	493	
	消耗器具備品費支出	1, 430	566	△ 864	
	印刷製本費支出	114	112	\triangle 2	
	水道光熱費支出	6, 760	8,894	2, 134	
	車輛費支出	2,810	1, 744	△ 1,066	
	燃料費支出	2, 864	2, 929	65	
	燃料費支出	124	260	136	
	車輛燃料費支出	2,740	2, 669	△ 71	
	修繕費支出	2,001	1, 088	△ 913	
	通信運搬費支出	1, 869	1, 678	△ 191	
	委託費支出	825	826	1	
	保守料支出	295	295	0	
	手数料支出	120	164	44	
	保険料支出	1, 097	838	△ 259	
	賃借料支出	1, 619	1, 568	\triangle 51	
				948	
	程 保健衛生費支出	11, 124	12, 072		
		316	159	\triangle 157	
	租税公課支出	1, 097	1, 114	17	
	研修研究費支出	10	10	0	
	地域福祉等対策費支出	973	1, 094	121	
	雑支出	456	244	△ 212	
	事務費支出	8, 064	8, 716	652	
	福利厚生費支出	3, 683	3, 707	24	

(令和5年度当初予算)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会 法人会計(単位:千円)

						(単位:千円)
		勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減額	備考
		旅費交通費支出	201	197	△ 4	
		研修研究費支出	0	40	40	
		事務消耗品費支出	372	454	82	
		印刷製本費支出	183	153	△ 30	
		燃料費支出	315	380	65	
		通信運搬費支出	627	622	\triangle 5	
		広報費支出	105	62	△ 43	
		手数料支出	309	850	541	
		民生委員実費弁償費支出	50	51	1	
		手数料支出	259	799	540	
		保険料支出	489	435	△ 54	
		賃借料支出	375	551	176	
		租税公課支出	243	283	40	
		渉外費支出	152	139	△ 13	
		諸会費支出	227	205	△ 22	
		保守料支出	161	161	0	
		車輛費支出	508	415	△ 93	
		諸謝金費支出	55	0	△ 55	
		雑 支 出	59	62	3	
		助成金支出	416	416	0	
		助成金支出	416	416	0	
		福祉推進校助成金支出	200	200	0	
		助成金支出	216	216	0	
		事業活動支出計(2)	265, 445	266, 702	1, 257	
1.6		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 49, 961	△ 48, 138	1, 823	
施設	収					
整	入	FE-TH-MALELLA MALELLA TO THE AND THE A		_	_	
備等		施設整備等収入計(4)	0	0	0	
に		固定資産取得支出	3, 525	0	\triangle 3, 525	
よる	出	車輌運搬具取得支出	3, 525	0	△ 3, 525	
収		施設整備等支出計(5)	3, 525	0	△ 3,525	
支	r I	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 3, 525	0	3, 525	
その		積立資産取崩収入	69, 878	63, 848	△ 6,030	
(J)	入	経営安定化積立資産取崩収入	69, 878	63, 848	△ 6, 030	
他		事業区分間繰入金収入	17, 857	17, 451	△ 406	
の		社会福祉事業事業区分間繰入金収入	17, 857	17, 451	△ 406	
活動		サービス区分間繰入金収入	16, 555	10, 194	△ 6, 361	
動		受託事業サービス区分間繰入金収入	1, 123	248	△ 875	
に		介護保険事業サービス区分間繰入金収入	15, 432	9, 946	△ 5, 486	
よっ	士	その他の活動収入計(7) 建立次帝支出	104, 290	91, 493	△ 12, 797	
3 ID	出出	積立資産支出	30, 022	30, 016	\triangle 6	
収支	Щ	退職給付引当資産支出	3	1	\triangle 2	
又		人件費積立資産支出 短加其企建立资产支出	7	3	\triangle 4	
		福祉基金積立資産支出	20,002	20, 002	0	
		経営安定化積立資産支出	30, 002	30, 002	0	
		事業区分間繰入金支出	17, 857	17, 451	△ 406	
		公益事業区分間繰入金支出	17, 857	17, 451	△ 406	
		サービス区分間繰入金支出	16, 555	10, 194	△ 6, 361	
		法人運営事業サービス区分間繰入金支出	10, 333	248	△ 10, 085	

(令和5年度当初予算)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会 法人会計

(単位:千円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増 減 額	備考
受託事業サービス区分間繰入金支出	367	636	269	
介護保険事業サービス区分間繰入金支出	5, 855	9, 310	3, 455	
その他の活動による支出	3, 652	3, 300	△ 352	
退職手当積立基金預け金支出	3, 652	3, 300	△ 352	
その他の活動支出計(8)	68, 086	60, 961	△ 7, 125	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	36, 204	30, 532	\triangle 5, 672	
予備費支出(10)	550	478	△ 72	
当期資金収支差額合計(11)=(3+6+9)-(10)	△ 17,832	△ 18,084	△ 252	

前期末支払資金残高(12)	17, 832	18, 084	252	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

		勘定科目	並左座	77. 211			内	訳	
			前年度 予算額	当初 予算額	増	減額	社会福祉	公益事業	備考
		大中					事業		
事		寄附金収入	10	10		0	10	0	
業	入		10	10	l	0	10	0	
活		経常経費補助金収入	15, 702	16, 313		611	16, 313	0	
動		町補助金収入	14, 732			487	15, 219	0	
に		社協運営費補助金収入	14, 732			487	15, 219	0	
ょ		共同募金配分金収入	970	1, 094		124	1,094	0	
る		一般募金配分金収入	970	1, 094		124	1, 094	0	
収		受託金収入	33, 491	34, 957		1, 466	34, 957	0	
支		県受託金収入	4, 500	4, 500		0	4, 500	0	
		生活困窮者自立支援事業受託金収入	4, 500			0	4, 500	0	
		町受託金収入	28, 243			1, 437	29, 680	0	
		生きがいと健康づくり推進事業受託金収入	300	300	l	0	300	0	
		配食サービス事業受託金収入	1, 347	2, 300		953	2, 300	0	
		ほっとセンター事業受託金収入	16, 560	17, 150		590	17, 150	0	
		共助の基盤づくり事業受託金収入	4,000	4,000		0	4,000	0	
		地区運動教室支援事業受託金収入	720	720	l	0	720	0	
		生活支援サービス事業受託金収入	2,650	2, 760		110	2, 760	0	
		予防型通所サービス受託金収入	2,601	2, 167		▲ 434	2, 167	0	
		傾聴ボランティア派遣事業受託金収入	59	263		204	263	0	
		住宅改修支援事業理由書作成受託金収入	6	20	l	14	20	0	
		県社協受託金収入	748	777		29	777	0	
		民生委員実費弁償費受託金収入	50	51		1	51	0	
		生活福祉資金貸付事業受託金収入	449	478		29	478	0	
		日常生活自立支援事業受託金収入	249	248	l	▲ 1	248	0	
		事業収入	1, 351	1, 491		140	1, 491	0	
		利用料収入	1, 348	1, 491		143	1, 491	0	
		参加費収入	3	0		▲ 3	0	0	
		介護保険事業収入	153, 581	153, 585		4	153, 585	0	
		居宅介護料収入	57, 264			▲ 5,892	51, 372	0	
		介護報酬収入	51, 552			▲ 5, 304	46, 248	0	
		介護負担金収入 (一般)	5, 712		l	▲ 588	5, 124	0	
		地域密着型介護料収入	49, 968			2,040	52, 008	0	
		介護報酬収入	44, 976			1,836	46, 812	0	
		介護負担金収入(一般)	4, 992	5, 196		204	5, 196	0	
		居宅介護支援介護料収入	16, 944			648	17, 592	0	
		居宅介護支援介護料収入	16, 944			648	17, 592	0	
		介護予防・日常生活支援総合事業収入	11, 568		l	1, 356	12, 924	0	
		事業費収入	10, 416			1, 224	11, 640	0	
		事業負担金収入(一般)	1, 152			132	1, 284		
		利用者等利用料収入	17, 837			1,852	19, 689	0	
		地域密着型介護サービス利用料収入	7, 524			2,016	9, 540	0	
		食費収入 (一般)	10, 305	-		▲ 163	10, 142	0	
		その他の利用料収入	8	7		▲ 1	7	0	
		老人福祉事業収入	6, 682			1, 322	0	8, 004	
		その他の事業収入	6, 682			1, 322	0	8, 004	
		管理費収入	3, 513			1, 095	0	4, 608	
		その他の利用料収入	3, 169			227	0	3, 396	
		障害福祉サービス等事業収入	3, 632			▲ 524	3, 108	0	
		自立支援給付費収入	3, 630			▲ 524	3, 106	0	
		介護給付費収入	3, 588	2, 952		▲ 636	2, 952	0	

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

= 100	リア昇				内		型位:十円)
	勘定科目	前年度	当初	مند حلت عددا	. —	訳 T	/++ -
		予算額	予算額	増減額		公益事業	備考
	大中				事業		
	サービス利用計画作成費収入	42	154	113	2 154	0	
	利用者負担金収入	2	2		2	0	
	雑 収 入	1,021	1, 088		1	191	
	雑収入	1,021	1, 088	6	7 897	191	
	受取利息配当金収入	14	8	A (5 7	1	
	受取利息配当金収入	2	2		1	1	
	積立資産受取利息配当金収入	12	6			0	
-	事業活動収入計(1)	215, 484	218, 564	3, 080		8, 196	
	支人件費支出	217, 376	-		1 '		
	出一役員報酬支出	1,540			1 '	0	
	職員給料支出	33, 169				0	
	職員賞与支出	13, 122					
	職員諸手当支出	3, 050	-		1 '		
	非常勤職員給与支出	134, 367			1		
	非常勤職員給与支出	31, 306	-		1 '		
	契約職員賃金支出	103, 061	107, 923		1	,	
	その他の賃金支出	6, 106	-		1		
	法定福利費支出	26, 022					
	事業費支出	39, 589	-		1		
	諸謝金支出 弁護士謝金支出	332	386				
	講師謝礼金支出	240	240		240		
	旅費交通費支出	92	146 282			0	
		420 318	180			0	
		102	102		102	Ĭ	
	安貝寺が貫入山 消耗品費	3, 057	3, 550		1		
	消耗器具備品費支出	1, 430	5, 550 566		1		
	印刷製本費支出	1, 430	112			100	
	水道光熱費支出	6, 760			1	1, 560	
	車輛費支出	2, 810	1,744				
	燃料費支出	2,864	2, 929				
	燃料費支出	124	260		1		
	車輛燃料費支出	2, 740	2,669		1		
	修繕費支出	2, 001	1, 088		1		
	通信運搬費支出	1, 869	1,678				
	委託費支出	825	826		751	75	
	保守料支出	295	295		295		
	手数料支出	120	164				
	保険料支出	1, 097	838				
	賃借料支出	1, 619	1, 568				
	給食費支出	11, 124	12, 072				
	保健衛生費支出	316	159		1		
	租税公課支出	1,097	1, 114				
	研修研究費支出	10	10		10		
	地域福祉等対策費支出	973	1,094				
	雑 支 出	456	244				
	事務費支出	8, 064	8, 716				
	福利厚生費支出	3, 683	3, 707		1		
	旅費交通費支出	201	197	A .	197	0	
	研修研究費支出	0	40	4	40	0	

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

		勘定科目	前年度	当初	124 14 45	内	訳	/++- + x
		大中 小	予算額	予算額	増減額	社会福祉 事業	公益事業	備考
		事務消耗品費支出	372	454	82	454	0	
		印刷製本費支出	183	153		153	0	
		燃料費支出	315	380	65	380	0	
		通信運搬費支出	627	622	▲ 5	622	0	
		広報費支出	105	62	▲ 43	62	0	
		手数料支出	309	850	541	850	0	
		民生委員実費弁償費支出	50	51	1	51	0	
		手数料支出	259	799	540	799	0	
		保険料支出	489	435	▲ 54	435	0	
		賃借料支出	375	551	176	551	0	
		租税公課支出	243	283	40	283	0	
		海外費支出 	152			109	30	
				139	▲ 13			
		諸会費支出	227	205		205	0	
		保守料支出	161	161	0	161	0	
		車輛費支出	508	415		415	0	
		諸謝金費支出	55	0	▲ 55	0	0	
		雑 支 出	59	62	3	62	0	
		助成金支出	416	416	0	416	0	
		助成金支出	416	416	0	416	0	
		福祉推進校助成金支出	200	200	0	200	0	
		助成金支出	216	216	0	216	0	
		事業活動支出計(2)	265, 445	266, 702	1, 257	241, 055	25, 647	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	▲ 49, 961	▲ 48, 138	1,823	▲ 30,687	▲ 17, 451	
施設	収							
整	入							
備		施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	
等に	支	固定資産取得支出	3, 525	0	▲ 3, 525	0	0	
ょ	出	車輌運搬具取得支出	3, 525	0	▲ 3, 525	0	0	
る収		施設整備等支出計(5)	3, 525	0	▲ 3,525	0	0	
支		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲ 3, 525	0	3, 525	0	0	
そ	収	積立資産取崩収入	69, 878	63, 848	▲ 6, 030	63, 848	0	
0	入	経営安定化積立資産取崩収入	69, 878	63, 848	▲ 6,030	63, 848	0	
他		事業区分間繰入金収入	17, 857	17, 451	▲ 406	0	17, 451	
0		社会福祉事業事業区分間繰入金収入	17, 857	17, 451		0	17, 451	
活		サービス区分間繰入金収入	16, 555	10, 194		10, 194	0	
動		受託事業サービス区分間繰入金収入	1, 123	248		248	0	
に		介護保険事業サービス区分間繰入金収入	15, 432	9, 946		9, 946	0	
ょ		その他の活動収入計(7)	104, 290	91, 493		74, 042	17, 451	
る	幸	積立資産支出	30, 022	30, 016		30, 016	0	
収	出	退職給付引当資産支出	3	1	▲ 2	1	0	
支		人件費積立資産支出	7	3	▲ 4	3	0	
_		福祉基金積立資産支出	10	10	0	10	0	
		経営安定化積立資産支出	30, 002	30, 002	_	30, 002	0	
		事業区分間繰入金支出	17, 857	17, 451		17, 451	0	
		公益事業区分間繰入金支出	17, 857	17, 451			0	
		サービス区分間繰入金支出	16, 555	10, 194		10, 194	0	
		法人運営事業サービス区分間繰入金支出	10, 333	10, 194		•	0	
		受託事業サービス区分間繰入金支出	10, 333 367	636				
						636	0	
		介護保険事業サービス区分間繰入金支出	5, 855	9, 310			0	
		その他の活動による支出	3, 652	3, 300	▲ 352	3, 300	0	

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

	勘定科目		45 F	No dest				内	訳	
剪		前年度 予算額	当初 予算額	増	減	11111	会福祉	公益事業	備考	
		大中					1	事業	1	
		退職手当積立基金預け金支出	3, 652	3, 300		▲ 35	2	3, 300	0	
		その他の活動支出計(8)	68, 086	60, 961	4	7, 12	5 (60, 961	0	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	36, 204	30, 532	4	5, 67	2	13, 081	17, 451	
		予備費支出(10)	550	478		A 7	2	478	0	
		当期資金収支差額合計(11)=(3+6+9)-(10)	▲ 17,832	▲ 18,084		▲ 25	2 🔺	18, 084	0	

前期末支払資金残高(12)	17, 832	18, 084	252	18, 084	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	0	0	